

国語 四十一 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>あい</sup>じょうを  <sup>うけて</sup>  <sup>そだ</sup>つ。

②  <sup>いっしゅうかん</sup>  <sup>いない</sup>にギヤプの  <sup>けいかく</sup>を  <sup>りつあん</sup>する。

③  <sup>光ゆらしほく</sup>の  <sup>はくし</sup>をせんだくする。

④  <sup>なが</sup>なわとびで  <sup>いちい</sup>になった。

⑤  <sup>せんすい</sup>で  <sup>くわんどう</sup>の  <sup>ぐんせいの</sup>をした。

国語 四十二 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① <sup>ぞう</sup>□<sup>が</sup>、<sup>みずらみ</sup>□<sup>の</sup><sup>しゅうい</sup>□<sup>を</sup><sup>あるいて</sup>□<sup>いる。</sup>

② <sup>はたけ</sup>□<sup>に</sup><sup>かこまれた</sup>□<sup>あかい</sup>□<sup>やね</sup>□<sup>の</sup><sup>いえ</sup>□<sup>が</sup><sup>めじるし</sup>□<sup>です。</sup>

③ <sup>えいよう</sup>□<sup>があるとき</sup><sup>いて</sup>□<sup>ついで</sup>□<sup>すませて</sup>  
まい、<sup>い</sup>□<sup>がいたい。</sup>

④ <sup>むかし</sup>□<sup>、</sup><sup>さかえた</sup>□<sup>まち</sup>□<sup>の</sup><sup>うつくしい</sup>□<sup>みなと</sup>□<sup>が</sup><sup>いんしょう</sup>□<sup>に</sup>  
<sup>のこって</sup>□<sup>いる。</sup>

⑤ <sup>えいご</sup>□<sup>の</sup><sup>ちから</sup>□<sup>を</sup><sup>やしなう</sup>□<sup>。</sup>

国語 四十二 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① <sup>にほん</sup>□の<sup>じんい</sup>□は<sup>いちおくにん</sup>□をいえている。

② ーグラムの<sup>しよくえん</sup>□を<sup>くわえる</sup>□。

③ <sup>しお</sup>□を<sup>いれすぎ</sup>□た<sup>けつか</sup>□、とけおらなかった。

④ スポーツ<sup>たいかい</sup>□に<sup>さんか</sup>□する。

⑤ <sup>くだもの</sup>□を<sup>ひやつかてん</sup>□で<sup>かう</sup>□。

⑥ はん<sup>ちよう</sup>□の<sup>やくめ</sup>□を<sup>はたす</sup>□。

国語 四十四 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ めん あ かんじ か  
 次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
 送りがなにも気をつけましょう

① <sup>ほうかご</sup>□に<sup>しあい</sup>□の<sup>けっか</sup>□を<sup>きいた</sup>□。

② <sup>あさがお</sup>□の<sup>め</sup>□が<sup>でた</sup>□。

③ <sup>だいま</sup>□がいつせいに<sup>はっが</sup>□した。

④ <sup>じどうしゃ</sup>じどうしゃ<sup>りくじやう</sup>□の<sup>せかい</sup>□が<sup>おおきな</sup>□<sup>おし</sup>□を  
<sup>だして</sup>□いる。

⑤ <sup>ひ</sup>□<sup>い</sup>□からせい□にそなえておく。



国語 四十五 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>かいりよう</sup>した  <sup>ひころき</sup>が  <sup>とび</sup> <sup>たつ</sup>。

②  <sup>しよくち</sup>の  <sup>かんせう</sup>を  <sup>あらためて</sup>やり  <sup>なおす</sup>。

③ じゆう  <sup>えん</sup>にねたので、からだの  <sup>ちよらし</sup>も  
 <sup>よく</sup>なつた。

④ しよらには、けい  <sup>せつかん</sup>になりたい。

国語 四十六 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番	名前
-------------------	--------------	-------	----

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>が</sup>いる <sup>じゆ</sup>の  <sup>な</sup>まえ <sup>を</sup>  <sup>おぼ</sup>えた。

② <sup>この</sup>  <sup>ま</sup>ち <sup>に</sup>  <sup>せ</sup>かい <sup>か</sup>つ <sup>こ</sup>く <sup>の</sup>  <sup>だ</sup>い <sup>ひ</sup>よう <sup>し</sup>や <sup>が</sup>  
 <sup>あ</sup>つ <sup>ま</sup>る。

③  <sup>ち</sup>む <sup>ち</sup> <sup>で</sup>  <sup>ゆ</sup>び <sup>ち</sup>ち <sup>の</sup>  <sup>か</sup>ん <sup>か</sup>く <sup>が</sup>ない。

④ プラモデルがやつと  <sup>か</sup>ん <sup>せ</sup>い <sup>し</sup>た。

⑤  <sup>め</sup>ぞ <sup>ま</sup>し <sup>ど</sup>けい <sup>の</sup>  <sup>お</sup>と <sup>で</sup>  <sup>め</sup> <sup>が</sup>  <sup>ち</sup>め <sup>た</sup>。

国語 四十七 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>じつげん</sup> で  <sup>せいりら</sup> をおためる。

②  <sup>しけんかん</sup> をあらう。

③ みんなで  <sup>かんがえた</sup>  <sup>せくせん</sup> を  <sup>ためす</sup> 。

④  <sup>あらたな</sup>  <sup>しりろみ</sup> にむねがおどる。

⑤  <sup>しりせく</sup> にストローのような  <sup>くだ</sup> を  <sup>つかう</sup> 。

⑥ なせば  <sup>なる</sup> なせねば  <sup>ならぬ</sup>  <sup>なにと</sup> も。

国語 四十八 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
 次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
 送りがなにも気をつけましょう

① <sup>せんそう</sup>□がなくなること <sup>ねがって</sup>を□やまない。

② <sup>けつしょうせん</sup>□を <sup>ただから</sup>□ <sup>あいて</sup>□と <sup>あく</sup>□ <sup>しゆ</sup>する。

③ かれとは <sup>あらい</sup>□たくない。

④ <sup>きぼう</sup>□をもつ。

⑤ <sup>のぞみ</sup>□がかなう。

⑥ ずっといっていた <sup>がんぼう</sup>□がかなう。

国語 四十九 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① ひつじのせわで  の  に   
 を  。

②  に 、 覇 のゆめが、は  
 かなく  。

③  に  を  。

④  ふつ  で  。

⑤  に  のポスターがはってあった。

国語 四十 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
 次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
 送りがなにも気をつけましょう

① この□<sup>あたり</sup>に□<sup>ともだち</sup>の□<sup>いえ</sup>がある。

② □<sup>せんしゆ</sup>が□<sup>けんいふ</sup>なのは、□<sup>しよぐこ</sup>のおかげだ。

③ □<sup>ぼしよ</sup>を□<sup>えらんで</sup>□<sup>いえ</sup>を□<sup>たてる</sup>。

④ この□<sup>くん</sup>は、□<sup>けん</sup>せつ□<sup>ちゆう</sup>の□<sup>たてもの</sup>が□<sup>おおい</sup>。

⑤ □<sup>もくひよう</sup>を□<sup>たつせい</sup>する。

国語 四十一 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① 江戸川が□に□いる。

② □けつなガ一ゼをたなに□おく。

③ □がはつせいする。

④ □を□。

⑤ □な□のもち□。

国語 四十二 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>しぜん</sup>をぼくする。

② この  <sup>おん</sup>せんは、  <sup>てんねん</sup>で、とても  <sup>あつい</sup>。

③  <sup>せよら</sup>は  <sup>ねつ</sup>があるので  <sup>むり</sup>はできません。

④  <sup>たいよう</sup>が  <sup>てり</sup>つける中、  <sup>なか</sup>で  <sup>うみ</sup>  <sup>りよう</sup>をする。

⑤  <sup>ぶじ</sup>に  <sup>せよせよらくみあ</sup>のあるビルに  
 <sup>ついた</sup>。

⑥ この  <sup>くや</sup>には  <sup>しょうめい</sup>が  <sup>ない</sup>。



国語 四十三 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① その□<sup>はかせ</sup>は、□<sup>おもらひや</sup>にすんでいる。

② □<sup>ふ</sup>せんを□<sup>つける</sup>。

③ 小<sup>こ</sup>金<sup>かね</sup>井<sup>いし</sup>市の□<sup>とくせんひん</sup>がなっている。

④ そん□<sup>とく</sup>ぬきで□<sup>しりふ</sup>にうちむ。

⑤ みんなからの□<sup>しん</sup>らいを□<sup>える</sup>。

国語 四十四 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① とほ で いけ の まわり を あるく 。

② アフリカ たいりく を おう だんする。

③ くつのひもを ちすふ 。

④ しよん ぼう し は しゆらい をかくにんした。

⑤ しあい の けっか をはやく しりたい 。

国語 四十五 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① じめんに □<sup>ちよつぱい</sup> 十メートルの □<sup>せん</sup> をかく。

② □<sup>ふね</sup> の 模 □<sup>けい</sup> をいつまでも □<sup>ひくろ</sup> □<sup>つづけて</sup> いる。

③ □<sup>おおがた</sup> バスが □<sup>れんぞく</sup> して □<sup>とおって</sup> いった。

④ その □<sup>てら</sup> のお □<sup>どら</sup> を □<sup>みる</sup> ことができて □<sup>おおよろこび</sup> だった。

⑤ □<sup>まげき</sup> 劇を □<sup>みて</sup> □<sup>わらう</sup> 。

国語 四十六 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>りんどう</sup> の  <sup>しゆくじつ</sup> は、  <sup>かぞく</sup> で  <sup>りようり</sup> を  <sup>つくる</sup> 。

②  <sup>しんるい</sup> が  <sup>あつまつて</sup> 祖母 <sup>そぼ</sup> のたん  <sup>じようび</sup> を  <sup>いわら</sup> 。

③  <sup>はる</sup> は  <sup>かふん</sup> のまら  <sup>せせし</sup> だ。

④  <sup>ふゆやすみ</sup> の  <sup>しよにあ</sup> は、  <sup>いなゆき</sup> がふつた。

⑤  <sup>はじめて</sup>  <sup>にむせり</sup> を  <sup>つかつた</sup>  <sup>りようり</sup> をつくつた。

国語 四十七 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① え を じゆんばん にかん しょう していく。

② いつがげつの しょうくわ をけいせんする。

③ ゲームに おおく の じかん を ついやす。

④ たいいく で そくてん の れんしゆら をした。

⑤ みぎがわ の たなに ちよきんつらちよう をしまる。

国語 四十八 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>るうじょう</sup>して  <sup>せぬらひまら</sup>を  <sup>える</sup>。

②  <sup>せまらひよく</sup>して  <sup>はたらく</sup>。

③  <sup>もくひよう</sup>に  <sup>むかっ</sup>て  <sup>せひよく</sup>する。

④  <sup>ただしい</sup>ことは  <sup>ゆるせ</sup>をもちて  <sup>じつじや</sup>しよう。

⑤ テレビで <sup>たつたつたせけん</sup>高校球見 <sup>うたせしん</sup>の  <sup>しんじん</sup>を  
みる。

⑥  <sup>じかん</sup>をおしんで  <sup>けんせけん</sup>に  <sup>しとめる</sup>。

国語 四十九 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① <sup>けはい</sup>□を <sup>いろして</sup>□ <sup>ちかづき</sup>□、 <sup>ひつせつ</sup>□わざを  
<sup>つから</sup>□。

② <sup>おもひごと</sup>□のしたくを <sup>せうしよ</sup>□におえるのは  
<sup>おもぬし</sup>□おえです。

③ こゝは <sup>にほん</sup>□で <sup>あつとも</sup>□ <sup>あけい</sup>□の <sup>くんか</sup>□にと  
んだ <sup>ぼしよ</sup>□です。

④ お <sup>いわい</sup>□に <sup>せまはん</sup>□をたいた。

⑤ <sup>ひん</sup>□は、 <sup>かおいろ</sup>□ <sup>か</sup>が <sup>かわる</sup>□。

国語 四十二 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  の  に  がたまっている。

②  圧が   がある。

③  から   が  。

④  は  のもと。

⑤  はすっかり  を  。

⑥   を  。



国語 四一二十一 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① なやんだ□<sup>すえ</sup>に、□<sup>から</sup>にしました。

② □<sup>ろくせう</sup>□<sup>みまん</sup>は □<sup>にゆうじょう</sup>□<sup>むりょう</sup>です。

③ □<sup>ねんまつ</sup>に □<sup>あう</sup>ことを □<sup>やくそく</sup>しました。

④ □<sup>はな</sup>がひと □<sup>たは</sup>しかかえなかつたので、  
□<sup>ふまん</sup>だ。

⑤ □<sup>つぎ</sup>が □<sup>みちて</sup>くる。

国語 四十二 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
-------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① <sup>りとし</sup>□の<sup>もくひょう</sup>□を<sup>かんがえる</sup>□。

② <sup>でんぴょう</sup>□を<sup>もつて</sup>□レジに<sup>いく</sup>□。

③ <sup>じゆんぼう</sup>□なことを<sup>つたえる</sup>□。

④ <sup>おうぎ</sup>扇の<sup>かなめ</sup>□。

⑤ おまつた<sup>いち</sup>□に<sup>ものおき</sup>□を<sup>おく</sup>□。

国語 四一二二三 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① <sup>あか</sup>□ <sup>わらった</sup>ちやんが □ <sup>ないた</sup>り □ <sup>か</sup>りする。

② <sup>かすいよく</sup>□ <sup>あ</sup>のあと、<sup>みず</sup>□ <sup>あびる</sup>のシャワーを □。

③ <sup>ほらほら</sup>せおせおな □ <sup>ち</sup>で □ <sup>か</sup>りようする。

④ <sup>りくみん</sup>□ <sup>せい</sup>のためのせい □。

⑤ <sup>くに</sup>□ <sup>おさめる</sup>を □ <sup>リーダー</sup>リーダー。

⑥ <sup>いがく</sup>□ <sup>しんぼ</sup>の □ <sup>なおる</sup>により □ <sup>びようま</sup>□ <sup>がふえ</sup>がふえ  
る。

国語 四一二十四 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	----------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① <sup>かがみ</sup>□のようないだがどんな<sup>きん</sup>□ぞくでできて  
いるのかを<sup>しらべる</sup>□。

② <sup>そぼ</sup>祖母は、<sup>おじ</sup>□が<sup>だいすき</sup>□なので、とても  
かわいがる。

③ <sup>しそん</sup>□のために<sup>せろく</sup>□をのこす。

④ <sup>いらいら</sup>□のいわしを<sup>すみび</sup>□で<sup>やく</sup>□。

⑤ <sup>くや</sup>□のけい<sup>いらいら</sup>□の<sup>ひかり</sup>□では、けんび<sup>おまひ</sup>□  
で<sup>かんせつ</sup>□するのに<sup>じゅう</sup>十<sup>ぶん</sup>□ではなかった。

国語 四一二十五 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	----------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① こは  を  する  です。

② 年賀状を  する のに、パソコンを  する。

③ 、 キヤプションになったつもりで  
メンバーのことを  みよう。

④  する  だちの  で 別れを  
おしむ。

⑤ ボールを  に   について、  
 な  をあげる。

国語 四一二十六 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	----------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① 「おもちゃの  の  」をピア  
ノでひく。

②  にくらぐると  の  が  
 がゆたかだ。

③  をして、 の  かんをする。

④  ゴムを  で  。

⑤  は  ども  が  。

⑥ とおくまで  が  。

国語 四一二十七 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
---------------------	-------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① のりつた やせら は、ほろちもの でせせみ、チヤー  
ハンの □ にした。

② な の はな はせらていたが、せんねん なりとに、  
せくいはもろ □ しまった。

③ うみ の あせら といろで あせら。

④ にじゆらにせいせ を そら ぞうする。

⑤ いるい をふるしかに つつむ。

国語 四一二十八 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① ことばのいみを  <sup>しらべる</sup> ときには  <sup>じてん</sup>  
が  <sup>ぐんり</sup> だ。

②  <sup>びん</sup> せんを  <sup>つかって</sup>  <sup>たより</sup> を  <sup>かく</sup> 。

③  <sup>あね</sup> は  <sup>いちよう</sup> が  <sup>よわい</sup> 。

④  <sup>はれた</sup>  <sup>ひ</sup> は、 <sup>とおく</sup> の  <sup>さんみやく</sup> が  <sup>みえる</sup> 。

⑤ たがいに  <sup>な</sup>  <sup>かま</sup> を  <sup>たすけ</sup>  <sup>あう</sup> 。



国語 四一二十九 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① □の□を□。

② プリントには□□を□に。

③ はちおきに□と□。

④ 「□」とは、□を□にします。

⑤ もらうすぐ□だ。

国語 四十三 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
-------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>おうえき</sup>が  <sup>めいれい</sup>する。

②  <sup>れい</sup>ぼうのまかせは、どんまのむだづかいです。

③  <sup>つめたい</sup>の  <sup>のみもの</sup>を  <sup>ちゅうもん</sup>する。

④  <sup>かいぎ</sup>に  <sup>せんか</sup>する。

⑤ あすはそちらまで  <sup>でんしゃ</sup>で  <sup>まいます</sup>。

国語 四十二十一 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① ①  <sup>とも</sup>に  <sup>きそいあら</sup>  <sup>なか</sup>で  <sup>せいちよう</sup>する。

② ②  <sup>ふたつ</sup>の  <sup>わざ</sup> <sup>わざ</sup>に  <sup>せいの</sup>するものを  
 <sup>かんがえる</sup>。

③ ③  <sup>くんれん</sup>によつて  <sup>かんせい</sup>の  <sup>うり</sup>をよくする。

④ ④  <sup>こ</sup>どもに  <sup>かかわる</sup>  <sup>しごと</sup>がしたい。

⑤ ⑤ かつお  <sup>ぶし</sup>をかける。

⑥ ⑥ 八王子市には、 <sup>むかし</sup>、 <sup>こぼとけ</sup>  <sup>せき</sup>があつた。

国語 四十二 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
-------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① オリンピックで □<sup>おしゆ</sup>をとめる。

② □<sup>かん</sup>らん □<sup>せき</sup>で □<sup>はた</sup>をふつておうえんする。

③ □<sup>おのら</sup> □<sup>みた</sup>すばらしい □<sup>けしき</sup>が □<sup>もの</sup>も  
□<sup>しん</sup>に □<sup>のりこ</sup>いる。

④ □<sup>じぶん</sup>が □<sup>みた</sup> □<sup>こうけい</sup>をほら □<sup>こ</sup>する。

⑤ はん □<sup>てい</sup>の □<sup>けつ</sup>が □<sup>つげられる</sup>。

国語 四十二三 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
--------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

- ① <sup>げい</sup>□じゆつ<sup>あ</sup>の<sup>あき</sup>□。
- ② <sup>しやうちやくばい</sup>□の<sup>ちんじゆるら</sup>□のおぐん<sup>どう</sup>□がある。
- ③ <sup>まつ</sup>□と<sup>うめ</sup>□の<sup>き</sup>□のえだを<sup>おって</sup>□しまった。
- ④ はたけに<sup>たね</sup>□をまく。
- ⑤ その<sup>かど</sup>□を<sup>うせつ</sup>□してください。
- ⑥ <sup>おりがみ</sup>□でつるを<sup>おる</sup>□。

国語 四一二十四 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
---------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① <sup>そうこ</sup>□ を <sup>かりる</sup>□。

② <sup>かまくら</sup>鎌<sup>おおく</sup>□には、<sup>おおく</sup>□のふるいてらがある。

③ <sup>む</sup>□<sup>しやくもん</sup>だんで□<sup>しやくもん</sup>してはいけない。

④ <sup>だいじん</sup>□の<sup>いう</sup>□<sup>しんじる</sup>ことを□。

⑤ <sup>しんぷう</sup>□<sup>あか</sup>が□<sup>かわった</sup>に□。

国語 四一二十五 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	-------------

つぎ めん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① お  が  。

②  が、 子どもの  すらを  。

③  の  。

④  の  で  を  。

⑤   に  。

国語 四一二十六 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
---------------------	-------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>しろぐみ</sup>が  <sup>たいせ</sup>で  <sup>かった</sup>。

②  <sup>にしび</sup>の  <sup>せす</sup>  <sup>くや</sup>。

③  <sup>なふだ</sup>に  <sup>じぶん</sup>の  <sup>なまえ</sup>を  <sup>かく</sup>。

④  <sup>いっちようえん</sup>は  <sup>せんえんせつ</sup>が  <sup>じゅうおくまいえん</sup>です。

⑤ せむけがするのは、 <sup>びようち</sup>の  <sup>ちよう</sup>らだ。



国語 四一二十七 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
---------------------	-------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

①  <sup>せんぎよ</sup>がたまごを  <sup>うんだ</sup>。

②  <sup>あおもり</sup>はりんごの  <sup>さんち</sup>だ。

③  <sup>がきゆうかい</sup>で  <sup>しかい</sup>をする。

④ じゆもんを  <sup>となえた</sup>。

⑤  <sup>し</sup>を  <sup>あんしょう</sup>した。

国語 四二十八 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
--------------------	-------------	----------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① <sup>ふかく</sup>□ <sup>はんせい</sup>□ している。

② <sup>せつめい</sup>□ を <sup>はやく</sup>□ 。

③ ぶんしょうを <sup>しめい</sup>□ りやくしてかん <sup>たん</sup>□ にする。

④ <sup>ひと</sup>□ の <sup>みち</sup>□ を <sup>とく</sup>□ 。

⑤ <sup>りょうり</sup>□ で <sup>しお</sup>□ の <sup>りょう</sup>□ を <sup>はかり</sup>□ まちがえた。

国語 四十二十九 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① みんなでどりの <sup>すばり</sup>□ を <sup>つくった</sup>□。

② ひざに <sup>ほらたい</sup>□ をまく。

③ <sup>おつと</sup>□ が <sup>うつくしい</sup>□ <sup>おび</sup>□ を <sup>かっ</sup>□ <sup>て</sup>くれた。

④ <sup>そら</sup>□ が <sup>あかみ</sup>□ を <sup>おび</sup>□ <sup>た</sup>□ <sup>いろ</sup>□ にそまる。

⑤ <sup>しよくちゆうどく</sup>□ に <sup>せ</sup>□ <sup>をつける</sup>□ <sup>せ</sup>□ になった。

国語 四十四 (書き)	第四学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
-------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か  
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう

① てい りゆう じよ でミス を まった。

② だんしゃ で ろうじん に せき をゆずった。

③ 月日がたつにつれ、ひと はだれでも おいて  
いく。